

ミカンハダニ

【学名：*Panonychus citri*】



写真1 被害葉



写真2 雌成虫と卵

【被害と発生生態】

- ・発生部位…葉，果実
- ・発生時期…3月頃までは旧葉，5月以降は新葉，8月以降は果実に発生します。
(最盛期：6～8月)
- ・発生好適条件…高温乾燥で多発する特徴があります。
- ・症状…葉：白くかすれたようになります(写真1)。
- ・果実：光沢が無くなり商品価値が低下します。

【見分け方】

- ・雌成虫は暗い赤色をしており，体長は約0.5mmです(写真2)。
- ・葉をティッシュペーパーで挟み手の平で押すと，赤い斑点が付着するため，発生を確認する目安になります。

【対策】

- ・冬期にマシン油乳剤で防除する場合は，葉裏で越冬していることが多いので，かけムラの無いよう丁寧に散布してください。
- ・梅雨明け後の多発を予防するため，6月中下旬に高度精製マシン油乳剤を散布してください(糖度低下や着色不良を招くため6月末までに行うようにしてください)。
- ・薬剤抵抗性が発達しやすいので，同一薬剤の連用は避けてください。
- ・ピレスロイド系の薬剤は土着天敵への影響が大きく，連用すると多発(リサージェンス)することがあるため使用を控えましょう。